

# 高岸税務会計事務所 ニュースレター

当税理士事務所は気軽に相談でき、親身に  
相談にのる税務・財務のスペシャリストです

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町 9-19-202

電話番号：072-683-0230 FAX：072 - 683-0376

<http://www.gishitax.com/>

mail：[info@gishitax.com](mailto:info@gishitax.com)

お気軽にお問い合わせ下さい 072-683-0230

(JR 高槻駅・阪急高槻市駅から徒歩約3分)



古来より日本人は祭や年中行事などの非日常を「ハレ」の日、日常を「ケ」の日と呼び、「ハレ」と「ケ」をワンセットにして使い分けていたそうです。私たちの日々も「楽しいこと」「苦しいこと」が交互に起こり、まさに「禍福はあざなえる縄のごとし」です。今年も残りわずかとなりました。良いお年をお迎えください。

## 【亡くなった後に遺産相続でもめないために】

「私が所有する土地に娘夫婦が家を建てて20年ほどになります。私には娘と息子の二人の子どもがいるのですが、娘が暮らすその土地は娘に相続をさせたいと考えています。私が亡くなった後に遺産相続で子どもたちに争って欲しくないため、今のうちに手を打っておきたいので何か対策を教えてください」というご質問がありました。「わが家に限って」と思いたいところですが、遺産相続でもめるケースは少なくないようです。しかし、もめないためにと何の対策もなく生前に贈与をしてしまつと、多額の贈与税がかかることに……。そこで、知っておきたいのが「相続時精算課税」という制度です。この制度は、60歳以上の祖父母・父母から、20歳以上の子・孫に対して財産を贈与した場合、2500万円までであれば贈与財産の種類や金額、回数に関係なく贈与税がかかりません。

ただし、相続時にその贈与した財産も他の相続財産に含めて相続税の計算をすることになります。メリットは、事前に財産が移転できるので争族のリスクが減ることや、将来、値上がりするような財産であれば、贈与時の評価で固定されるため相続税の負担を軽減できることでしょうか。デメリットは、一度この制度を選択すると暦年控除が使えなくなることや、相続に比べて不動産の登記コストが高くなることなどでしょう。



## 【女性客を意識した「漫画喫茶」の人気の秘密は？】

東京・渋谷の「ハイリーファイブカフェ」は女性客を意識した漫画喫茶です。エステサロンのようなエントランスに輸入菓子が並ぶショップ、アロマディフューザーのレンタルもあり、若い女性が利用者の大半を占めています。またオートロック式の個室は完全防音でプライバシーを保てることから、自分専用のオフィスとして仕事をしたり打ち合わせに利用するビジネスマンも増えているとか。漫画を読む以外にも、プライベート空間としての新たな需要が広がりそうです。



## 【今月の教えてキーワード：ビットコイン】

パソコンやスマートフォンで使用する仮想通貨のひとつ。インターネット上でみ流通するので紙幣や硬貨は発行されない。円やドルなどの法定通貨と交換し、ネット上での送金や支払いに使う。特定の発行主体はなく、国や中央銀行の管理も受けない。取引データを暗号化し、分散して保存するブロックチェーンという仕組みを用いるため、大規模なコンピュータシステムが不要となり経費や手数料などコストを抑えた運用ができる。

## 【夢は本当になうのかな？】

ある人から次のような話を聞きました。小学4年生のK子ちゃんは「私の夢はイルカの調教師」という作文を書いたそうです。けれど書き終えた後「夢って本当になうものなのかな？ したら夢がかなうのかな？」という不安と疑問を持った彼女は、夏休みの自由研究のテーマを「夢は本当になうのかな？」に決めたそうです。夢について書かれた本を読んだり、夢をかなえた有名人をインターネットで調べたりしました。また「夢はかないましたか？」というアンケートを自分で作っているいろいろな職業の人に書いてもらったり、直接話を聞いたりして自由研究をまとめたそうです。

ノーベル賞を受賞した山中伸弥教授の本を読んで「どんどん試して失敗することが大切です」という言葉に勇気もらったK子ちゃんは、京都大学IPS細胞研究所を訪ね、国際広報室の人にも話を聞いたようです。果たしてK子ちゃんの結論はどうだったのでしょうか。「夢はかなう。けれど夢はかなえるもの」これがK子ちゃんの研究成果でした。夢をかなえるために必要なのは準備や行動だけでなく、まずは楽しむこと。好きなことにアンテナを張って毎日を生き生き過ごすこと。やりたいことが見付かったら日付を決めて「夢」を「目標」に変え、その目標に向かって努力すること。失敗も大事な経験だから挑戦すること。さらには福澤諭吉の『学問のすゝめ』から「学問に入らば大いに学問すべし。農たらば大農となれ、商たらば大商となれ」という一文を引いて「どうせやるならとことんやろう。こうして夢はかなうのです」とまとめています。



K子ちゃんのアンケートには「夢をかなえるために必要なことをひとつ教えてください」という質問があるそうです。あなたなら何と答えるでしょう。「81%以上の人々が夢がかなっています。これはキラキラした明るい事実です」というK子ちゃん言葉に背中を押されるのは、むしろ大人たちかもしれないですね。子どもたちに「夢はかなうよ」と言える大人でありたいと思った年の瀬です。

## 今を生きる 先人の言葉

一汲より  
一滴も漏れず

三菱財閥の創業者である岩崎弥太郎の言葉。樽の上からすくって飲む(大金を使う)程度ならいい。怖いのは樽の底から一滴でも漏れる(締めりのない家計)ことだ。



「オレオレとせがむ息子は本物だ」  
（今月の送金、忘れてた）